感染制御科

久留米大学病院 KURUME UNIVERSITY HOSPITAL

Ⅰ.一般目標(General Instructional Objective)

感染症の診断、治療を適切に行える能力を修得するとともに、院内感染対策に必要な知識と技術を身に付ける。

Ⅱ.行動目標(Specific Behavioral Objectives)

1.アレルギーなど他の発熱をきたしうる疾患との鑑別ができる。

2. 病歴、臨床症状および徴候から判断し、感染部位の推定および感染症の鑑別疾患に役立てることができる。
・呼吸器感染症・・・肺炎、肺化膿症、膿胸、インフルエンザなど
・中枢神経系感染症・・・髄膜炎、脳炎など
・腸管感染症・・・腸チフス、細菌性赤痢、コレラなど
・尿路感染症・・・膀胱炎、腎盂腎炎など
・輸入感染症・・・マラリア、デング熱など
・その他・・・骨髄炎・感染性心内膜炎など

3. 原因微生物を特定するための検査を修得する。
・グラム染色、抗酸菌染色、ギムザ染色などの実技と判定
・インフルエンザ、レジオネラ、肺炎球菌、マラリア、デングなどの抗原検査実技と判定
・サイトメガロウイルスなどのPCR検査の実技と判定

4. 感染症の感染経路を理解し、標準予防策と感染経路別予防策を行うことができる。

5. 病態に応じた適切な抗菌薬の選択および投与法の決定ができる。

Ⅲ.方略(Learning Strategies)

入院患者の一般的・全身的な診療とケア、及び一般診療で頻繁に関わる症候や疾患に対応するために、幅広い疾患に対する診療を含む病棟／外来研修を行なうこと。

Ⅳ.経験できる疾患・技術など

① 一般・医療職および渡航に必要なワクチン選択、注意喚起

② 不明熱の鑑別

③ 輸入感染症(デング熱・マラリア・チクングニアなど)

④ 非一般的感染症(猫ひっかき病, ブルセラ症, Q熱など)

⑤ グラム染色をはじめとする治療・抗菌薬選択のための補助診断

⑥ 他科との共診による豊富なコンサルト

⑦ ICTとしての活動

⑧ 抗菌薬の初期選択

Ⅴ.評価(Evaluation)

ローテーション終了時ごとにオンライン臨床教育評価システムEPOC2または研修医評価票Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを用いて、指導医・医療スタッフ等により評価を行う。
また、研修医が自らの到達度を客観的に把握できるよう、指導医・医療スタッフからの評価や具体的なアドバイスを研修医に提供する。

Ⅵ.指導者と研修施設

1.診療部長	渡邊　浩
2.指導責任者	渡邊　浩
3.指導医	後藤　憲志
	坂本　透
4.研修施設	久留米大学病院

Ⅶ.週間予定

月：AM　感染対策実習、外来研修
　　PM　外来研修/コンサルテーション対応
火：AM　外来研修/コンサルテーション対応
　　PM　ICTラウンド, 症例検討／回診
水：AM　外来研修/コンサルテーション対応
　　PM　抗菌薬講義、外来研修
木：AM　外来研修
　　PM　外来研修/コンサルテーション対応
金：AM　コンサルテーション対応
　　PM　症例検討／回診
土：AM　コンサルテーション対応